



芝山小だより



10月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

## 読書の秋です。

校長 寺井 俊敬

爽やかな秋風の吹く季節となりました。保健室前の金木犀(キンモクセイ)も甘い秋の香りを漂わせています。

いよいよ明日を運動会に控え、子供たちの表情からもやる気を感じられます。子供たちの考えたテーマは「協力し 絆深める運動会へ」です。明日の演技・競技に全力で取り組んでくれると思います。子供たちにとって、思い出深い1日となってほしいと願っています。

さて、明日から10月。暑さがおさまり、過ごしやすくなるこの季節は、学習や運動等にじっくりと取り組むのによい季節です。今月は、運動会後、清瀬教育の日、演劇鑑賞教室、読書旬間、学年によっては校外学習も予定されています。子供たちにとって、自分なりの目標をもち、互いに協力し合って取り組む1か月となってほしいと思います。

ところで、『食欲の秋』、『芸術の秋』、『スポーツの秋』等、様々な秋がありますが、先日の全校朝会では、『読書の秋』について、本のスライドを見ながら話をしました。主な話の内容は以下の通りです。

今日は、まもなく10月、「読書の秋」についての話をします。

皆さん、本は好きですか。本を選ぶときに、どんな本を選ぶでしょうか。私は、選ぶときの方法の一つとして、同じ人が書いた違う本を選ぶことがあります。学生時代、灰谷健次郎さんという人が書いた本(太陽の子、兎の目)をたくさん買って読んでいました。…ところで、皆さんが本を選ぶとき、教科書に載っている話を書いた「人」で選ぶのも面白いと思います。

(絵本のスライドを見ながら話をしました。)1年生だと「くじらぐも」は、中川李枝子さんが書いています。中川さんは、「ぐりとぐら」を書いた人です。読んだことがある人も多いかと思います。2年生だと「スイミー」は、レオレオニさんが書いて、谷川俊太郎さんが訳しています。「フレデリック」を読んだことがある人もいるかと思います。3年生です。「ちいさんのかげおくり」はあまんきみこさんが書きました。あまんさんは「白い帽子」を書いています。4年生です。「ごんぎつね」は新見南吉さんが書いた本です。新見さんは「手袋を買いに」を書いています。5年生です。「大造じいさんとがん」は、椋鳩十さんが書いた本です。椋さんは「片耳の大鹿」等を書いています。6年生です。「やまなし」は宮沢賢治さんが書いた本です。宮沢賢治さんは、「注文の多い料理店」や「銀河鉄道の夜」といったお話を書いた人です。このように、教科書に載っている話を書いた人で選ぶのも面白いと思います。運動会が終わったら、いろいろな本に親しむというのはどうでしょうか。今日は、「読書の秋」という話をしました。

本校では毎週金曜日を「全校読書」として、朝学習の時間に一人一人が自分の読みたい本を手に読書に取り組み、静かな時間が流れています。今月の17日(月)からは、今年度2回目の読書旬間が始まります。『多くの本に親しむことで読書の楽しさを味わい、読書の習慣を付ける。』『友達や先生方の本の紹介を読んだり聞いたりして、読書の幅を広げる。』という目的のもと、期間内は月曜日や木曜日の朝学習でも読書活動を行います。読書記録をカードに記入したり、教員や図書委員会による本の紹介等も行ったりします。

読書活動を通して育まれる力はどのようなものがあるでしょう。知識、読解力、語彙力、想像力、表現力、集中力…育まれる力はたくさんあります。しかし、子供たちの中には、読書が好きな子供がいれば、反対にあまり好きではない子供もいます。『読書の秋』です。お子様に読み聞かせをしてあげたり、お子様と一緒に好きな本について話し合ったりしてみたいかでしょうか。